

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	委員									平均	評価	A	B	C	D	E	F	G	H	I	コメント				
							A	B	C	D	E	F	G	H	I																
心の教育及び人権教育の推進	心身の育成を促進する	生活・学習規律の徹底と	学校や家庭において規律ある生活の定着と、自分を取り巻くすべての人を大切に思う心をはぐむ。	B	・児童会及び教員による定期的なあいさつ運動により意識が向上した。児童のあいさつ運動が定着した。	・あいさつすることの気持ちよさや大切さについて実感できるよう児童が互いに評価し合う場面を設定する。	A	B	B	B	B	B	B	B	A	3.2	B	グラウンドや玄関等での児童の様子を見て問題ないと安心する。	あいさつのできる子、できない子は散見される。あいさつを定着させることは難しいと思います。ご指導よろしくお願ひします。	基本的な生活習慣は第一に家庭である。児童同士で意識を高めるのと合わせ、挨拶等、家族間のコミュニケーションをもっと促すべきだと思います。	バス停でバスを待っている子供たちとの接触しなかったが、みんな自らあいさつをしてくれて明るい気持ちになりました。						教員による定期的なあいさつ運動は評価できる。	小学生からあいさつすることを意識していることは大切。今後も継続していけるとよい。	あいさつ等学校で対応していただいておりますが、家庭への啓発もお願いいたします。	皆、素直で先にあいさつできなくても、きちんと返してくれる。学校にやさしさゆとりが必要。	概ね良いとの評価をいただきました。あいさつができる場面もあるが、家庭と連携して相手に届くあいさつをしていくよう指導してまいります。
			たてわり班による異学年集団での活動や学習を通して、自己有用感を育成する。	B	・たてわり活動を集会で実施することができた。また遊ぶ場面だけでなく、掃除などの生活場面でも交流をもつことができた。また、下級生は上級生に感謝を伝えることもできた。	・遊びだけでなく、助け合ったり、協力し合ったりする場面を多く設定するとともに、感謝を伝える場をさらに増やしていく。	A	A	B			B	B	B	A	3.4	B	児童の元気が声や動きでわかるもの。規律ある育成の効果だ。	小規模特認校の特徴を最大限有効活用していると思います。	積極的、消極的な児童がいると思いますが、それを伸ばすことは少人数校ならではの利点だと思います。たてわり活動とおして継続していただきたい。						集会などでのたてわり活動により自己有用感が育成されている。	兄弟姉妹が少ないため、たてわり班や異学年での交流はとて良い。これからも続けてほしい。	たてわり班により、上級生が下級生の世話をしている形は、まだ継続していると思う。ぜひ、力を入れてほしい。	概ね良いとの評価をいただきました。地域での交流が少ない分、学校で異学年交流をさらにすすめて、思いやりのある児童を育成してまいります。		
確かな学力の定着と健康・安全教育の徹底	基礎学力の定着・学びへの意欲の向上	個に応じた指導力の充実と健康・体力の向上を図る。	個別指導を充実させた授業により基礎・基本の学力を定着させるとともに、自らゴールを設定し論理的に思考する力を育てる。	D	・休職者の後補充として算数担当を配置したため、算数少人数指導が実施できなかった。また論理的思考に結びつく活動を実施してきたが、成果を表現することができなかった。	・授業の中で自分が望む結果を考え、たどり着くための道筋を検証する学習を校内で実施していく。	A	B	D	D	B	C	B	D	C	2.2	C	児童の学習風景を見る限り思考力は育っていると思う。	少人数制を活かして個別指導の授業をやってください。落ちこぼれを出さないでください。	繰り返し学習することや実際に体験することで理解が深まる科目があると思います。前者は主体的には難しいので、宿題を増やしてもいいのではないかと思います。	理由はいろいろあり、成果が見えない限り、評価はしづらく、休職者が出ていることも気にあるところである。					少人数指導については一定の成果は出ていると考える。	個別指導、少人数指導に関しては、保護者の期待が大きいので、休職者が出た際は対応が必要。	教員の配置規準が決まっている中、学校は大変だったと思います。	小規模校の悩みである先生の不足は大変だと思うが、ぜひ工夫して頑張ってもらいたい。小学校全体で一体となっている雰囲気は少し見受けられない。	もう少し努力が必要であるとの評価をいただきました。少人数であることを活かした教育ができるよう研鑽してまいります。	
			一人一台端末を活かした誰にも分かりやすい授業を目指すとともに、活用を工夫することで児童の学力を向上させる。	C	・タブレットの利用の仕方を校内でも研修してきたが、授業での活用率は少なかった。また、活用についても効果的であったか検証することができなかった。	・活用の仕方や提示、発表の方法など、検証をすすめる。また、学年発表などの場面でICTを活用していくようにしていく。	E	A	C	D	B	C	B	C	B	2.2	C	現代の機械に弱い私ですので、コメントはお許しください。	通学風景を見ていると、地元の子も車まで送迎している様子が見られます。その点から改善した方がよいと思います。	ITツールは使って見えるものだと思います。指導側も慣れることで効率が上がると思うので、どんどん使って発表することにも慣れるべきだと思います。	なぜ活用できなかったが問題で、本当に必要かも含めて検討が必要なのかも。アンケートの結果も「わからない」が多いことから保護者への公開も不十分だったのではないかと。				効果的な活用について検討するべきと考える。	タブレットの利用について今後も授業でも活用の場面が増えるといいと感じた。	タブレットの活用方法等、よろしくお願ひします。	授業内容のことは詳しくわかりませんが、高学年はよくタブレットを使いこなしていると思います。	もう少し努力が必要であるとの評価をいただきました。タブレット使う場面や持ち帰りも負担のないよう計画的に実施していきます。		
			体育授業の改善、ぐんぐんタイム、持久走旬間の実施により児童を運動に親しませるとともに体力を向上させる。	B	・ぐんぐんタイムや持久走旬間の計画的な実施をすることができ、保護者評価は低かったが、児童評価は良好だった。	・運動する機会を今後も計画的に実施するとともに、成果の記録が残る工夫をしていく。また、成長の様子が伝わるよう工夫していく。	A	B	B		A	A	A	B	B	3.5	A	学校に同ったり近くの道路で見ても体力向上努力は出来ていると思う。	訓練は大切です。これからも続けてください。	授業の他にも休み時間に先生と一緒に遊んだり、竹馬で昔遊びをとおして体力や体の感覚を養ったりと工夫されていて良い。					ぐんぐんタイムや持久走旬間の実施は充分効果があったと考える。	小・中合同マラソン大会の開催もあり、運動することは(体力の向上)できていた。	運動会やマラソン大会が実施できてよかったです。子供たちも運動に意欲的です。	外に出る機会が増えてよかったです。子供たちも運動に意欲的です。	十分にできているとの評価をいただきました。帰宅してから運動機会が少ないようですので、学校で計画的に運動していきます。		
「自分のいのちは自分で守る」意識をもち、災害等に対して主体的に行動できる安全教育の充実を図る。また、自他の健康について学び、実践する力を育てる。	B	・毎月の避難訓練や安全教育の実施により、児童が主体的に安全を意識することができた。	・家庭や校外など様々な場面で活用できるように安全教育を工夫していく。また、関連機関とも連携して安全教育をすすめていく。	C	A	B		B	B	B	B	C	2.9	B	「自分の命は自分で守る」他人を頼る考えは、ずっとあとにしている考え。大人も子供も同様。	自分の意見を言うことは、個々の学習意欲を向上させると思います。話し合いの場をもっと用意してください。	災害や熱中症など初動が大事だと思うので、日頃の訓練を継続していただきたい。				安全教育の実施等の取り組みが評価できる。	児童が主体的に安全を意識することはできているので、これからも継続してほしい。	安全であること、安全でないことをきちんと学校と区別すべき。	概ね良いとの評価をいただきました。学校内だけでなく、どこであつても安全を意識できるように工夫してまいります。							
特色ある教育活動の推進	小規模校の特色を活かした教育の実践	児童一人一人に寄り添った教育と自然に恵まれた環境を活かした教育の実践	体験活動を重視し、児童に自分の考えをもたせ、少人数の中だからこそ、話し合いを大切に、自分の考えを深める学習を積極的に行う。	A	・地域素材や人材を活用した教育を進めることができた。考える時間も確保に努め、保護者評価は低かったが、児童評価は概ね肯定的評価であった。	・活動重視にならないよう、児童の興味・関心が高められるような体験ができるようにしていく。また、体験で得た成果が伝わる工夫をしていく。	A	A	A	B	A	A	A	A	3.8	A	取組み方、少人数での良さが表れている。	青梅市内(住江町)の方に紙芝居を活用し、青梅市の歴史を伝える活動をした方がいます。その方の紙芝居をぜひ子供たちに見せたいと思っています。	山、川、地域の産業を活かした体験は貴重なので、テーマをもって児童の観察力、想像力を養っていただきたい。	各学年とも校外・校内において色々な体験学習が実施されており、机上では学べない知識の習得に学校は努められていると思う。	成木小まつりや地域の発表会等、開校以来継続行事を今後も続けていってほしい。	成木ならではの素材を活用した教育ができています。	体験活動をおして自分の考えをもたせるようにしている。	体験活動から子供は多くのことを学ぶと思う。以前の成木小、旧8・9・10小で、地域を知るためにどんな体験活動を取り入れていたかを考えても良いと思う。	十分にできているとの評価をいただきました。今年は感染防止対策をしながら多くの活動を行うことができました。体験を振り返り、これからの生活や学習に活かしていきたいよう、さらに研鑽してまいります。						
			地域の自然や歴史、文化の教材化や地域人材の活用を積極的に図るとともに関係施設・機関と連携し、児童が多様な人々と交流・活動を行うことにより、地域を愛し、地域に根ざした教育を推進する。	A	・地域や市内の方々へ協力いただき、成木・青梅を愛する心を育成するための充実した活動を行うことができた。	・歴史や文化の教材化をすすめるとともに、持続可能であるよう資料や手順の整理を行っていく。	A	B	A	A	A	A	A	A	B	3.8	A	大変重要なこと。成木小は積極的に取り組んでいる。抜群の特色である。	学校側は一生懸命やっているといます。保護者の無責任がアンケートの低い結果に表れていると思います。	もの、情報があふれているが、昔ながらの生活や伝統を学ぶ機会が貴重なので継続していただきたい。有識者も少なくないので、映像で残すとか、対応を図るべき。	地域の方を講師に迎えて学習や体験ができていく機会を設け、地域に根ざした活動が行われている。	成木ならではの栽培活動とても良いと思う。コロナ禍で大変ですが、工夫して地域のことを学んでいってほしい。	地域との協力による活動ができています。	成木小学校では地域の自然や文化を大切にしている。	地域には多くの人材や文化財がありますので、引き続き活用しながら子供たちの成長に役に立ってほしい。	コロナもあって、以前より地域のかかわり減ったのは仕方ないと思うが、地元の子どもが減っているため、地元の交流は少ないように思う。成木小と成木地区との関係性が薄れているように感じますが、知らないだけか?	十分にできているとの評価をいただきました。今後も地域素材を活かした教育活動ができるよう、地域の方々の協力をいただき、推進してまいります。				
保護者・地域等と連携し、教育環境を充実・整備する。	保護者・地域等と連携し、教育環境を充実・整備する。	すべての人の学校運営への参画意識の向上を図る。	学校便り・ウェブサイトの充実を通して教育活動を積極的に保護者・地域に発信する。また、普段のコミュニケーションやアンケートから保護者・地域の声を知るとともに積極的な参画を求め、開かれた学校づくりを推進する。	C	・学校での学習や活動の様子について学校だよりやウェブサイトに掲載してきたが、保護者アンケートでは低い結果だった。また、アンケート結果は地域へも公表し、ご意見をいただくことができた。	・学校だよりではさらに紙面の構成を工夫するとともに、ウェブサイト掲載について周知を図るようしていく。また、メール発信について、文書発信の必要性も周知しながらよりよい形を見つけていく。	A	A	C	C	B	B	C	C	2.8	B	学校だより等で学校の考え方や予定が早め早めに示されている。わかりやすい。	パトロールについては現状維持でよいと思います。	発信方法の改善は必要だと思います。紙では児童が帰宅してから確認になり、外では見られないので、ITを活用し、いつでも確認できるのがよい。紙と重複してもよいと思います。	学校だよりは情報が簡潔にまとめられており、読みやすいと感じています。ウェブサイトにもう少し詳しく写真など多く取り入れて学校のことを紹介されていると良いと感じました。				ウェブサイトの活用はある程度進められていると考える。	保護者アンケートの回答数が少ないので、今後改善が必要。	ホームページ等、最新の情報を早く周知し、保護者や地域の方々に発信することが大切だと思います。	アンケートの回収率が悪すぎる。時代に合ったコミュニケーションをしてほしい。	概ね良いとの評価をいただきました。情報の周知について整理し、即時性、確実性、汎用性を考えた方法でお伝えできるようにしてまいります。アンケートは、保護者の方の参画意識を高めていくよう努め、全員から提出していただけるようアナウンスしてまいります。			
			PTA、保護者、地域、関係諸機関と連携し、児童の安全確保の徹底と改善を図る。	B	・警察や地域との連携を図り、交通・登下校の安全確保に努めることができた。また、PTAと採石業者等との懇談会を行い、改めて交通安全について確認し合うことができた。	・市内全域の安全を考えていく必要があるため、警察や自治会とさらに連携・連絡を密にしていく。また、保護者への連絡・周知もさらに徹底していく。	C	A	C	B	B	A	A	B	B	3.1	B	向上には度数の大きな増加が必要である。	要望は打ち上げると、予算なし。交通法、条例を満たしているため、現状のままとなっている。事故・事件が起る前に不安を解消するための行動が欠けていると思います。	成木小はダンパー等交通量が多い地域であり、歩道も狭い状況にあります。安全確保に付け、学校・PTAと地域が共同して活動することで改善が図れることもあるかと思っています。				交通・登下校の安全確保の取り組み、採石業者等との懇談会の実施について評価できる。	今年度は採石業者との懇談会を開催することができ、交通安全について確認しあうことができた。		概ね良いとの評価をいただきました。PTA・地域との協力場を文化祭やマラソン大会だけでなく相互に情報交換し、協力できるようにしてまいります。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。				

各委員の評価をA=4 B=3 C=2 D=1 として数値化し、平均値をもって学校関係者の評価とした。\*平均値をもとに A≧3.5>B≧2.5>C≧1.5>D とした。